

## 2016 ひろしま総文自然科学部門を終えてのお礼

第40回全国高等学校総合文化祭「2016ひろしま総文」自然科学部門大会が、皆様のご協力のもと、成功裏に閉幕いたしました。

大会テーマ「創造の風 希望の光 平和を願う心 三本の矢に込めて」のもと、「研究発表」、「ポスター（パネル）発表」、「生徒交流会」、「巡検研修」などたくさんの方が3日間の大会日程の中で行われました。閉会式で、研究発表、ポスター（パネル）発表について表彰を行いました。表彰を受けられなかった学校も含めてすべての学校がこれまで積み重ねてきた成果をしっかりと発表されたと思います。これからは、今年の結果を基にしながら、全国の高校生がさらに研究を続け、来年の宮城大会でまた新しい成果をぜひ発表してもらいたいと思います。

閉会式では、審査委員長の山本先生から、今後の研究に向けて大切な示唆をいただいたと思います。一つは、データを大切にすることでした。一つ二つのデータで結論を導くのではなく、しっかりと繰り返しの実験や観察を行い、誰でも再現が可能であると確認の持てるデータを使って結果を導くことが大切です。そのときに、恣意的にデータを選別するのではなく、得られたデータの誤差の理由についても考えながら結果を導くことが必要であると山本先生はおっしゃいました。このことは科学系の研究を進める上で大変重要なことですので、ぜひ今後の研究において気をつけていただきたいと思います。またもう一つは、先行研究と文献調査をしっかりとすることの大切さでした。単にどの文献から引用したというのではなく、この研究はここまで進んでいたのか、自分たちはそこからさらにこういった点を見つけたなどの比較ができるように、文献調査、先行研究の確認をすることは大切です。いずれのことも科学研究で結果をまとめて発表する上で重要なことですが、このようなことを大学の教授である山本先生がおっしゃるということは、実は皆さんの研究がそれだけ高いレベルにあるということです。大学で山本先生が接しておられる研究に近い発表があったからこそ、先生は高い水準でのお話をされたのです。ぜひ、これから研究を進められる学校は、参考にさせていただきたいと思います。

ここで、この大会に参加した生徒の皆さんに一つお願いがあります。それは、それぞれの出身地に帰って、山本先生のお話や広島の地で見たこと、聞いたこと、学んだことを県の報告会などを通して紹介していただきたいということです。参加した皆さんが、生の声で全国の様子を伝えることで、自然科学を愛し、研究に取り組む高校生がさらに増えていくと思います。そして、さらに全国に自然科学の輪が広がるとと思います。ぜひ、いろいろな場面で見たり聞いたことを、積極的に紹介していただくようにお願いします。

自然科学部門大会は、大成功のうちに終えることができました。暑い中を各会場の入り口で案内をしたり、大会運営を支えたりしてくれた高校生の皆さん、本当にお疲れ様でした。様々な場所で赤いTシャツの高校生の姿が見られました。広島県の高校生の皆さんが全国からやって来た高校生を温かく迎えてくれたことが、大会が成功した原動力だと思っています。ありがとうございました。

最後になりましたが、この大会の開催に向けて準備を進めてこられました広島県実行委員会の皆様、特に、可部高校前田校長先生、児玉先生をはじめとする広島県の役員の先生方、多大なご支援をいただいた広島大学の皆様、そしてこの自然科学部門の開催に尽力をいただきましたすべての皆様に改めて感謝を申し上げます。

来年は宮城県で「みやぎ総文2017」が開催されます。自然科学部門は、石巻市の石巻専修大学を会場として開催されます。来年は、宮城で皆様とお会いしましょう。

本当に皆様ありがとうございました。

平成28年8月3日

高等学校文化連盟全国自然科学専門部会長  
島根県立大東高等学校校長  
今 井 靖